

ペDESTリアンデッキ 自動運転モビリティを 体験しよう！

2025.11/5 水 ~ 16 日
2026.1/15 木 ~ 26 月

※運休日：11/10(月)・11(火)、1/20(火)・21(水)



後のせ自動運転システム
YADOCAR-i
ドライブ

つくば市、JAXA、東海クラリオン株式会社、
つくばまちなかデザイン株式会社との
共同で運行しています。



買い物帰りや親子でのお出かけに！

自動運転で日常生活をサポートする「こどもMaaS」の
実現を目指した実証実験を行っています。

時速3km～最高10kmで障害物を避けながら自動運転走行します。



誰でも無料で乗車できますのでお気軽にご利用ください！



乗車/降車場所

つくばセンター広場

約10分 ↑ ↓ 約10分

つくばカピオ前

予約不要。乗降場所に直接お越しください。

定員数 最大3名

運行時間 9:00~16:00

※運行時間が変更になる場合がございます

料金 **無料！**



↓ 運行状況はこちらから ↓

※試乗車の状況や天候などのやむを得ない事情により、
内容の変更・中断・中止となる場合があります。
※走行エリア内では写真や動画撮影が行われます。
YADOCAR-iドライブの活動報告として、
ホームページやSNS及び各種印刷物に掲載される場合が
ありますので、あらかじめご了承ください。



主催：つくば市

発行元/お問い合わせ：つくばまちなかデザイン株式会社

E-mail: info@tsukumachi.co.jp

----後のせ自動運転システム YADOCAR-iドライブについて----

自動運転は高額で導入が難しいという課題に対して、既存車両を活用し用途を特定することで、離島や地方においても持続可能な低コスト化を実現する自動運転モデルです。



----自動運転について----

内閣府が提供するMADOCAR-PPP（マドカビービービー）という準天頂衛星からの情報と、JAXA(ジャクサ)が開発するソフトを使ってクルマの位置や方位を求めています。また、建物や樹木があって衛星からの電波が届かない場では、クルマの動きや向きが分かるセンサーや、障害物を見つけるセンサーを使います。



自動運転は、特定条件やドライバーによる監視の要否によって、国土交通省がレベル1～5の区分を定めています。今回の実証実験ではドライバーによる監視を必要とするレベル2で行います。

----実証実験について----



建物や樹木が多い場所では、衛星からの信号が建物で跳ね返ったり樹木にぶつかったりして、正確な位置が分からなくなることがあります。今回の実証実験では、つくば市の三次元地図を使うことで、衛星から直接届いているデータを選び、センサーを効率よく使えるようにして、自動運転に活用できるかどうかを確認します。

皆さまのニーズをお聞かせください！

つくば市では、つくば駅周辺をはじめとした市内の移動を支援する目的で、低速自動運転モビリティの社会実装を目指しています。試乗会場では、社会実装のためのアンケートも実施しています。低速自動運転モビリティの安全性へのご感想や行ってみたい場所など、皆さまのお声をお聞かせください。

